

市民講演会のお知らせ 講師：柳田邦男 ※申込みに関しまして修正しました※

[イベント] 2013年09月03日

日本地質学会第120年学術大会 市民講演会

「災害に備える安全な社会とは」
～求められる発想の転換と主体性～

講師：柳田邦男（作家・評論家）

日時：2013年9月16日（月・祝） 14:30～16:00

会場：東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

自然災害への備えと克服するための手段として、真に安全な社会を構築する基盤となる考え方の枠組みについて講演いただきます。自然災害が巨大災害となりうる現代の過密社会。その主要な背景要因として、科学・技術への過信、ゆがんだ効率主義・科学主義、リスクの確率論への過度の依拠、リスクコミュニケーションの未成熟などを指摘し、それらを克服するにはどうすればよいのか。地殻変動の時間スケールに人間の時間をどう合わせるか、技術や確率論の限界をどう認識するか、効率主義をどう見直すべきか、防災対策のハードとソフトのバランスをどう社会的に認知すべきか、リスクコミュニケーションをこの国に根付かせるにはどうしたらよいかなどの問題について論じます。



日本地質学会第120年学術大会 市民講演会

災害に備える安全な社会とは ～求められる発想の転換と主体性～

講師：柳田邦男（作家・評論家）

日時：2013年9月16日(月・祝) 14:30～16:00

会場：東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

共催：東北大学理学研究科、東北大学災害科学国際研究所、
東北大学東北アジア研究センター、東北大学学術資源研究公開センター
後援：仙台市教育委員会、宮城県教育委員会、河北新報社、TBC東北放送

現代の過密社会においては、自然災害が巨大災害の色彩を濃くしている。その主要な背景要因として、科学・技術への過信、歪んだ効率主義・科学主義、リスクの確率論への過度の依拠、リスクコミュニケーションの未成熟などを指摘することができる。それらを克服するには、どうすればよいのか。真に安全な社会を構築する基盤と成る考え方の枠組みとして、地震変動の時間スケールに人間の時間をどう合わせるか、技術や確率論の限界をどう認識するか、効率主義をどう見直すべきか、防災対策のハードとソフトのバランスをどう社会的に認知すべきか、リスクコミュニケーションをこの国に根付かせするにはどうすればよいのか、といった問題について論じたい。

《柳田邦男氏プロフィール》

1936年 栃木県生まれ
ノンフィクション作家、評論家。航空機事故、医療事故、災害、戦争などのドキュメントや評論を数多く執筆。



■ポスター展

川内萩ホールのエントランスロビーにて、講演会の前後各1時間（13:30～14:30、16:00～17:00）、地質学会の研究者による研究紹介のポスター展を開催しています（発表者による説明あり）。

日本地質学会学術大会

2013年9月14日(土)～16日(月)

◎仙台・東北大学川内北キャンパスほか

<http://www.geosociety.jp>

安心安全を学習のテーマとするリーディング大学院生として、防災科学に関する興味深い柳田氏の講演を聴講できる貴重な機会です。奮ってご参加ください。

詳細は下記URLにてご確認ください。

東北大学サイト

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2013/08/event20130819-02.html>

日本地質学会サイト

<http://dges.es.tohoku.ac.jp/koenkai/Top.html>

《注意》 *****

尚、上記でご案内しておりますホームページでの案内とは異なり、
申込は不要となりましたので、追記してお知らせいたします。

市民講演会チラシ（改訂版） 



大学概要	学部・大学院・研究所	教育・学生支援	研究・産学連携	国際交流	社会連携	情報公開・広報	入試情報
東北大学で学びたい方へ	社会人・地域の方へ	企業の方へ	同窓生の方へ	在学生の方へ	教職員向け		

ホーム > 2013年のイベント > 作家・評論家の柳田邦男先生の市民講演会『災害に備える...』

2013年 | イベント

作家・評論家の柳田邦男先生の市民講演会『災害に備える安全な社会とは ～求められる発想の転換と主体性～』開催について（9/16開催）

2013年8月19日 14:00 | イベント, 公開講座・市民講座・企画展, 学会・研究会・シンポジウム

現代の過密社会においては、自然災害が巨大災害の色彩を濃くしています。その主要な背景要因として、科学・技術への過信、歪んだ効率主義・科学主義、リスクの確率論への過度の依拠、リスクコミュニケーションの未成熟などを指摘することができます。それらを克服するには、どうすればよいのか。真に安全な社会を構築する基盤と成る考え方の枠組みとして、地殻変動の時間スケールに人間の時間をどう合わせるか、技術や確率論の限界をどう認識するか、効率主義をどう見直すべきか、防災対策のハードとソフトのバランスをどう社会的に認知すべきか、リスクコミュニケーションをこの国に根付かせるにはどうすればよいのか、といった問題について論じます。

日時 2013年9月16日（月・祝）14:30から（開場13:30）

会場 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

講師 柳田邦男（作家・評論家）

主催 一般社団法人日本地質学会

後援 仙台市教育委員会、宮城県教育委員会、河北新報社、TBC東北放送

▶ [詳細はこちら](#)

申込不要・参加費無料

当日会場にお越しください。もしよろしければ、ご参加の予定人数を下記メールアドレスにお知らせいただけると幸いです。

sendai_taikai@mbe.nifty.com（*を@に置き換えてください）

[問合せ先]

日本地質学会

TEL:03-5823-1150

<http://www.geosociety.jp/sendai/content0012.html>

カテゴリ

新着情報

ニュース

受賞・成果等

- ▶ 受賞
- ▶ 研究成果
- ▶ メディア掲載

採用情報

- ▶ 東北大学教員公募情報
- ▶ 東北大学教員の任期に関する規程
- ▶ 東北大学職員公募情報
- ▶ 東北地区国立大学法人等職員採用試験情報
- ▶ 東北大学事務系・技術系職員採用試験情報

プレスリリース

イベント

- ▶ 学会・研究会・シンポジウム
- ▶ 公開講座・市民講座・企画展
- ▶ 学内行事・講習会・オープンキャンパス

東北大学で学びたい方へ

社会人・地域の方へ

企業の方へ

同窓生の方へ

在学生の方へ

教職員向け

過去の新着情報（アーカイブ）

▲ [このページの先頭へ](#)





第120回 日本地質学会学術大会

市民講演会

災害に備える安全な社会とは

～求められる発想の転換と主体性～

講師：柳田 邦男
(作家・評論家)

2013年 9月16日(月・祝)
東北大学 川内萩ホール



現代の過密社会においては、自然災害が巨大災害の色彩を濃くしています。その主要な背景要因として、科学・技術への過信、歪んだ効率主義・科学主義、リスクの確率論への過度の依拠、リスクコミュニケーションの未成熟などを指摘することができます。それらを克服するには、どうすればよいのか。真に安全な社会を構築する基盤と成る考え方の枠組みとして、地殻変動の時間スケールに人間の時間をどう合わせるか、技術や確率論の限界をどう認識するか、効率主義をどう見直すべきか、防災対策のハードとソフトのバランスをどう社会的に認知すべきか、リスクコミュニケーションをこの国に根付かせるにはどうすればよいのか、といった問題について論じます。

日時 2013年9月16日(月・祝) 14:30から(開場13:30)

会場 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

講師 柳田邦男(作家・評論家)

主催 一般社団法人日本地質学会

後援 仙台市教育委員会、宮城県教育委員会、河北新報社、TBC東北放送

参加費無料

(可能でしたら、参加予定人数を下記メールアドレスにお知らせいただくと幸いです)

sendai_taikai@mbe.nifty.com , t-yamada@m.tohoku.ac.jp

[問合せ先]

日本地質学会

TEL:03-5823-1150

<http://www.geosociety.jp/sendai/content0012.html>